

---

2018/12/6-7: NIST/NIH を訪問しました。

ヒトマイクロバイオーム測定の詳細化に関する意見交換や米国におけるヒトマイクロバイオーム研究の最新動向を知る目的で、NEDO 先導研究プログラムで共同研究を進めている産業技術総合研究所(産総研)および再委託先である製品評価技術基盤機構(NITE)メンバーと National Institute of Standards and Technology (NIST) および National Institutes of Health (NIH)傘下の National Institute of Allergy and Infectious Diseases (NIAID) を訪問しました。NIST は米国の様々な技術の標準化を担っており、ヒトマイクロバイオーム計測に関しても標準化を進めています。NIAID は米国におけるヒトマイクロバイオームの国家プロジェクトであった HMP (Human Microbiome Project) を主導した研究機関です。NIST および NIAID からは、それぞれの機関の紹介とヒトマイクロバイオーム標準化に向けた活動内容や現行の研究動向を、JMBC からは、運営委員長の寺内よりコンソーシアムの設立目的や測定方法の標準化ならび健康人データベースの構築といった活動を紹介しました。JMBC のように日本国内では産業界における企業の協調的な取り組みが進んでいることに対して、米国の何れの機関からも予想に反して驚きの声がありました。一方、米国では HMP 以降の研究は国家レベルの研究体制ではなく個別の活動に移っている様子が窺い知れたとともにコンソーシアム活動のような企業間の連携は希薄な状況を垣間見ることができました。

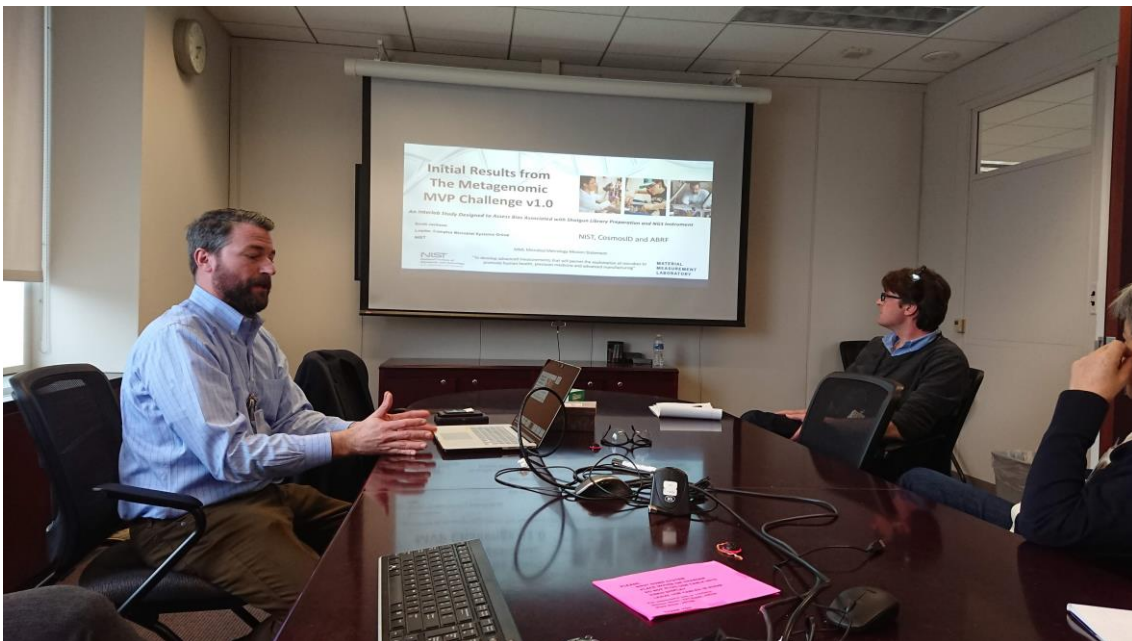
JMBC では、これまでにオランダの Lifelines や台湾の Taiwan Microbiota Consortium (TMC) との意見交換を国際連携活動の一環として進めてきましたが、今回の訪問により米国でのマイクロバイオーム研究を先導している研究機関との連携を進めていけることとなりました。その一環として、JMBC は米国で 2019 年 9 月に予定されている NIST 主催のマイクロバイオーム標準化に関するワークショップへの参画について検討を開始しています。

JMBC の運営委員長であり、国際連携タスクチームのリーダーである寺内は、このような国際連携をさらに発展させて JMBC の進めている測定標準化に関する国際的なハーモナイゼーションや得られるデータの健康医療への産業応用などを推進できるように努めたいと考えています。

---

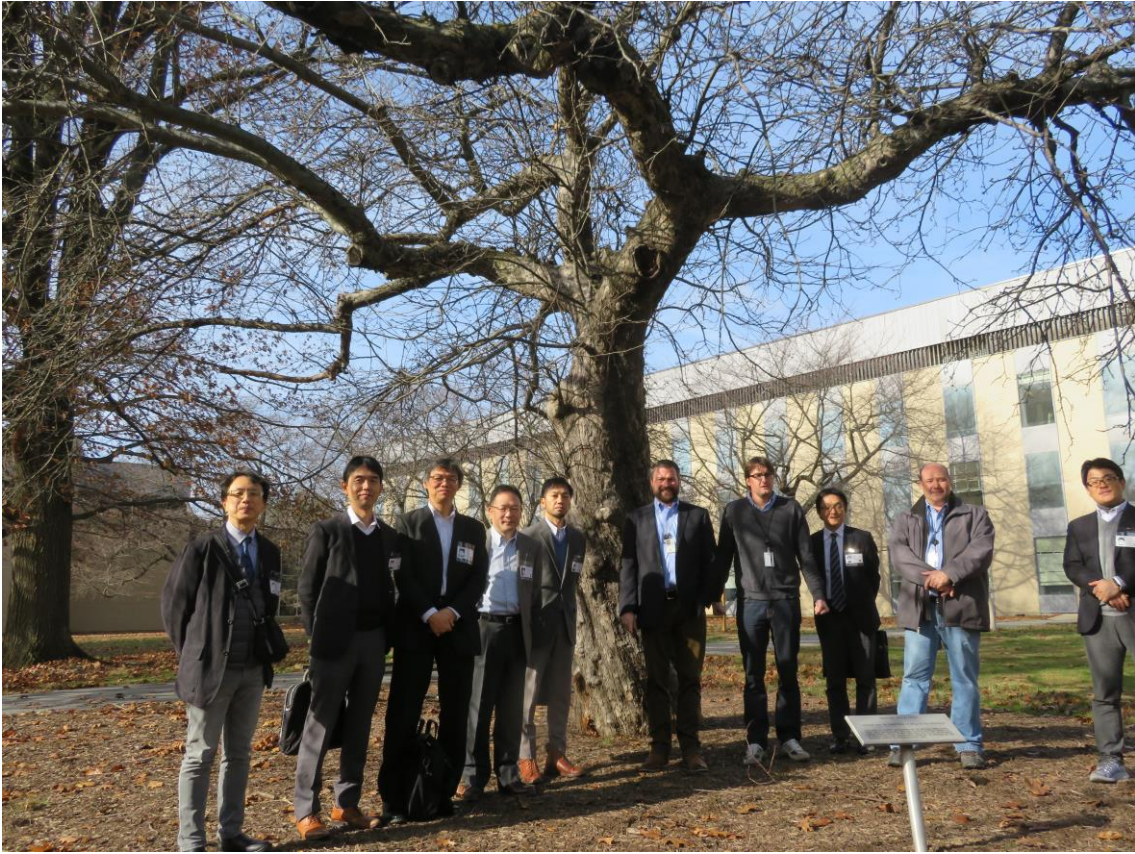


NIST での JMBC の紹介



NIST の Scott Jackson との意見交換





NIST でのグループフォト



NIH/NIAID での意見交換



NIH/NIAID でのグループフォト